

	各社の考え方
□ 算定を行う背景・目的	<ul style="list-style-type: none">● 投資家や特定顧客などからサプライチェーン排出量に関する情報開示の要請が増加している。● 自社のサプライチェーン排出量を把握する算定方法を確立する。● 算定によって、温室効果ガス削減のポテンシャルが大きいカテゴリを特定し、より効果的な削減対策の実施を目指す。
□ 算定結果の活用方法	<ul style="list-style-type: none">● カテゴリ別の排出量割合を把握することで、重点的に削減活動を推進すべきカテゴリの特定に活用する。● サプライチェーン排出量の削減効果の評価に活用する。● 投資家や特定顧客などからの情報開示要請に活用する。
□ 算定のメリット	<ul style="list-style-type: none">● 算定の結果、「販売した製品の使用」段階の割合が最も多く、今後も重点的に削減活動に取り組むべき対象であることが再確認できた。● 同時に、「購入した製品・サービス」段階も割合が多く、積極的に削減活動に取り組むべき対象であることが確認できた。● 算定が難しいカテゴリについても簡易算定手法を採用することにより、サプライチェーン排出量を算定できた。
□ 社内の算定体制	<ul style="list-style-type: none">● 全体とりまとめは本社の地球環境部で実施している。● 原則として、「活動量×排出原単位」の算定式を用いて算出している。● 各活動量は当社実績に基づく一次データを使用し、既にある社内データを関連部署より収集している。

	各社の考え方
<p>□ サプライチェーン排出量の削減に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 重点的に削減活動を推進するカテゴリとして、「販売した製品の使用」段階と「購入した製品・サービス」段階を特定している。 ● 「販売した製品の使用」による排出量の削減は省エネルギー製品、高効率製品などの開発、販売を推進している。 ● 「購入した製品・サービス」による排出量の削減は、コンパクト化や軽量化などによる「省資源」、「低環境負荷材料」の採用などを製品開発に折り込んでいる。 ● これらの要素を含めた製品開発を全社的に推進するために、自社独自に定めた基準に適合する製品を「Kawasakiグリーン製品」、または「Kawasakiスーパーグリーン製品」として社外に発信する制度を構築している。
<p>□ サプライチェーン排出量算定の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 積み上げ方式による排出量データを使用するのが望ましいが、算出が難しいため、排出原単位データベースによる算出としている。 ● 海外の連結対象会社やサプライチェーンの海外での活動を評価できる排出原単位データベースの整備が必要である。
<p>□ その他(任意)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 社内で入手可能な一次データと排出原単位を用いて、概算で全体の排出量と各カテゴリのバランスを把握して試みるのが重要である。 ● そのバランスから、自社として重点的に削減活動を推進すべきカテゴリを把握し、戦略的な対応を検討する礎とするのがよい。

カテゴリ	算定方法	
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	<ul style="list-style-type: none"> ● 原材料・資材の調達量(金額データ) (シナリオを設定) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 原材料、資材種ごとの原単位 (環境省DB)
カテゴリ2「資本財」	<ul style="list-style-type: none"> ● 設備投資金額 	<ul style="list-style-type: none"> ● 設備投資金額当たり原単位 (環境省DB)
カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」	<ul style="list-style-type: none"> ● 購入した燃料使用量 	<ul style="list-style-type: none"> ● 燃料使用量ごとの原単位 (環境省DB)
カテゴリ4「輸送、配送(上流)」	<ul style="list-style-type: none"> ● 荷主分の輸送に係る輸送トンキロ ● サプライヤー輸送による輸送トンキロ (シナリオを設定) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 省エネ法の特定荷主 ● 燃料使用量、物流量ごとの原単位(環境書DB)
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物種類別排出量 	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物種類別原単位 (環境省DB)
カテゴリ6「出張」	<ul style="list-style-type: none"> ● 旅費交通費支給額 (シナリオを設定) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 旅費交通費支給額当たり原単位 (環境省DB)
カテゴリ7「雇用者の通勤」	<ul style="list-style-type: none"> ● 勤務地ごとの社員数 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社員1人当たり原単位 (シナリオを設定:環境省DB)
カテゴリ9「輸送、配送(下流)」	<ul style="list-style-type: none"> ● 荷主外の輸送に係る手段、重量、距離 (シナリオを設定) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 物流量ごとの原単位 (環境省DB)
カテゴリ11「販売した製品の使用」	<ul style="list-style-type: none"> ● 主要製品使用時の消費電力量 (主要製品ごとに想定使用時間を定め、消費電力量と納入基数から算出) ● 使用条件のシナリオ設定による算出 	<ul style="list-style-type: none"> ● 消費電力量当たり原単位 (温対法、環境省DB)